

授業科目	小児看護学概論		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	非常勤講師 (小児看護領域臨床実務経験有)					
科目目標	1. 小児各期にある対象や小児を取り巻く社会を理解し、小児の健全な成長発達を助けるための小児看護の機能と役割について学ぶ。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	小児看護の対象と目標	講義	非常勤講師	
	2	2	小児看護における子どもの権利保障	講義		
	3	2	子どもと家族を取り巻く環境と今日的課題	講義		
	4	2	子どもの健康を支える法律と政策	講義		
	5	2	予防接種	講義		
	6	2	学校保健	講義		
	7	2	子どもの安全と事故防止	講義		
	8	2	子どもの栄養①栄養の重要性と特徴	講義		
	9	2	③離乳食	講義		
	10	2	④幼児食 ⑤食育	講義		
	11	2	新生児・乳児の養護および看護	講義		
	12	2	幼児の養護および看護 基本的な生活習慣確立への援助	講義		
	13	2	学童期の健康問題と看護	講義		
	14	2	思春期の健康問題と看護	演習		
	15	2	まとめ・終講試験	講義・試験		
評価方法	筆記試験 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概論小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学〔2〕 小児臨床看護各論 医学書院					

授業科目	小児看護方法 I		単位数	1	時間数	15
担当講師 (実務経験)	専任教員					
科目目標	1. 子どもとのコミュニケーションの方法について理解する。 2. プレパレーションの目的について理解する。 3. 健康障害、入院が子どもに及ぼす影響について理解する。 4. 入院・療養における日常生活援助と留意点について理解する。 5. 小児のアセスメントと留意点について理解する。 6. 小児の検査・処置、救急救命処置技術と留意点について理解する。					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
	1	2	小児看護を実践するための基礎知識 子どもとのコミュニケーション技術 コミュニケーションの目的 各発達段階におけるコミュニケーション方法 プレパレーションの目的・方法	講義	専任教員	
	2	2	各発達段階別 入院・療養における援助 小児の入院環境 発達段階に応じた受け止めと看護	講義		
	3	2	各発達段階別 入院・療養における援助 感染防止・事故防止 遊び・学習への援助	講義		
	4	2	小児の入院と看護（病気や入院による制限） 活動制限のある小児と家族の看護 食事制限のある小児と家族の看護 隔離中の小児と家族の看護 外来の機能に求められる看護	講義		
	5	2	小児の看護技術（身体的アセスメント） 小児のアセスメントの特徴 健康歴の聴取、バイタルサイン・一般状態の観察 身体計測・発達評価	講義		
	6	2	小児の看護技術（身体的アセスメント、身体計測）	講義		
	7	2	検査や処置を受ける子どもと家族 救急救命処置技術	演習		
	8	1	終講試験			
評価方法	筆記試験 100 点					
評価基準	60 点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕小児臨床看護概論・総論 医学書院 看護学テキスト NiCE 小児看護技術 南江堂					

授業科目	小児看護方法Ⅱ		単位数	1	時間数	30
担当講師 (実務経験)	助産師（産科病棟実務） 非常勤講師 看護師（小児科等混合病棟実務） 専任教員					
科目目標	1. 健康障害の病態を理解し、健康が障害された小児に生じる症状や反応、陥りやすい状態、小児や家族の生活に与える影響を理解する 2. 健康障害にともない小児が受ける検査・処置・治療に合わせた観察や看護の方法を学ぶ 3. 健康障害が小児の成長発達に与える影響を理解し、成長発達を促す関わりを学ぶ 4. 看護過程展開をとおして、小児に合わせた目標設定と具体的な介入方法を学習する					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
A	1	2	低出生体重児と家族の看護①	講義	助産師	
	2	2	低出生体重児と家族の看護②	講義		
B	3	2	先天性疾患（消化器）をもつ子どもと家族の看護	講義	非常勤講師	
	4	2	先天性疾患（循環器）をもつ子どもと家族の看護	講義		
	5	2	神経疾患をもつ子どもと家族の看護	講義		
C	6	2	呼吸器疾患をもつ子どもと家族の看護	講義	看護師	
	7	2	血液疾患をもつ子どもと家族の看護	講義		
	8	2	急性期にある子どもと家族の看護	講義		
	9	2	慢性疾患をもつ子どもと家族の看護	講義		
D	10	2	小児の看護展開（糖尿病）オリエンテーション	講義・演習	専任教員	
	11	2	グループワーク（アセスメントの集約）	演習		
	12	2	グループワーク（全体像の把握）	演習		
	13	2	グループワーク（プレパレーション計画）	演習		
	14	3	発表	講義・演習		
	15	1	終講試験	試験		
評価方法	筆記試験 80点（A10点、B30点、C40点） レポート 20点（D20点）					
評価基準	60点以上で合格					
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論 医学書院 看護学テキスト NICE 小児看護学概論 南江堂					